

学校通信『自分に自信と夢を』 第95号 文責 古澤

学校教育目標

自分に自信と夢を ～人に優しさ**と絆**を 学校に笑顔**と創造**を 郷土に誇り**と感謝**を～

「自分に自信と夢を」とは → 命を大切にする大津小

- 自分のことが好き。自分のことを知る。命を守る（自尊感情を高めて自信をつける）
- 良いところを伸ばす（認め褒め励ます・成功体験を積み重ねることで自信をつける）
- 夢（目標）を持つ（行動すること・努力すること・やり抜くことで自信をつける）
- 挑戦する（知りたいこと・やりたいこと・困難なことへの挑戦により自信をつける）
- ◎夢を語る（夢の実現に向けて行動することで、自己の成長を実感することができる）
- ◎「分からない」「教えて」と伝え合う力を身に付ける（学びを深めて自信をつける）
- 「オールおおづ」でキャリア教育を展開する（幸せ感あふれる夢のある学校づくり）

「人に優しさ**と絆**を」とは → 友だちに優しい大津小

- 他の人のことが好き。他の人のことを知る（他の人を認めることができる）
- 相手の立場で考える（相手の思いや痛みを分かることができる）
- 友だちに寄り添える（友だちの悲しい思いや寂しい思いに気付くことができる）
- 豊かな感性で接する（すべての[人・物・事]を素直に受け入れることができる）
- ◎共に学び合い聴き合う（温かい言動で絆を深め、協力して共に伸びることができる）
- ◎多様性を受け入れる力を身に付ける。相手の話を最後まで聴く（共感力・想像力）
- 個性を伸ばし、絆を深める仲間づくりを実践する（人権が尊重される学校づくり）

「学校に笑顔**と創造**を」とは

- 学校が好き・楽しい（授業が分かる・友だちがいる・安全で安心して学習できる）
- 児童や教職員の居場所があり、活躍する機会や場がある（頑張りや評価される学校）
- 児童が集団の一員としての自覚を持ち、よりよい学校づくりに参画する（夢サミット）
- 凡事徹底。当たり前前の方が当たり前前ができる（そろえる・続ける、町3つの約束）
- ◎伝統を発展的に継続する。感染症対策を講じて新しい教育スタイルを創造する
- ◎自分たちの課題を自分たちで把握し、その課題解決に取り組む（段取り力・協働力）
- 感染症対策を講じた新しい教育スタイルを創造する（安全・安心な学校づくり）

「郷土に誇り**と感謝**を」とは

- ◎ふるさと大津が好き（教育活動の成果を家庭や地域へ発信し、大津を誇りに持つ）
- ◎地域から愛される学校（地域の支えや見守りがあり、学習できることに感謝する）
- 地域とともにある学校（家庭や地域と連携・協働して、地域への社会貢献をする）
- 大津を知る（地域の一員としての自覚を持ち、大津の歴史・自然・産業・文化を知る）
- 大津の[もの・こと]を体験する（大津町の事業や地域行事へ積極的に参加する）
- 家庭・地域から積極的に学び取り、自分の生活・学習に生かす（五者で共有する）
- 「社会に開かれた教育課程」を実現する（保護者や地域に信頼される学校づくり）



今年度の学校教育目標も、「自分に自信と夢を」と掲げました。併せて、サブ目標に、「絆」「創造」「感謝」を追記しました。昨年度、コロナ禍の中で、子どもたちや先生方が大切にしてきた言葉です。この教育目標は、全ての教育活動の根幹をなすものであり、全教職員が教育目標を常に意識し、その達成に向けて学校全体で取り組んでいかなければなりません。そこで、子どもたちに育てたい資質・能力を昨年度末に学年部ごとに話し合い、今年度は重点目標の中から共通実践（◎の項目）を決めて取り組むことにしました。

児童玄関から入った最初の太い柱に学校教育目標「自分に自信と夢を」が掲示（写真）してあります。登校して校舎に入った子どもたちは毎日最初に学校教育目標に出会っています。大津町の基本理念「夢を持ち、夢を育み、夢を叶える教育実践」の実現に向けて、学校教育目標に取り組んで参ります。